

第2学年 美術科学習指導案

1. 単元名 金色の効果を用いた表現を味わおう
2. 単元の目標
 - (1) 金を使った日本の絵画や工芸品を鑑賞し、良さや美しさを味わう。
 - (2) 金色の効果を生かし、主題を基に、材料や方法を工夫して表す。
3. 本単元で身につけさせたい情報活用能力
 - A 情報を収集する力
 - B 情報をまとめる力
 - C 集めた情報を表現する力

4. 単元の評価規準

観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価基準	鑑賞：金色の効果を用いた表現に関心をもち、主体的にその美しさや表現の工夫などを感じ取ることができる。 表現：鑑賞で学んだことを生かしながら創意工夫して表現できる。	金色の効果を生かした表現から、感じ取ったことや考えたこと、調べたことなどを基に、主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。	描画材料などの特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。	造形的な良さや美しさ、金色の効果を生かした表現から感じ取ったことなどを基にした主題と表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

5. 単元の指導計画及び評価計画(計7時間)

(情)・・・情報活用能力

時	学習のねらい 学習活動	評 価				
		関	発	創	鑑	
1	<p>(課題把握・鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術作品には金を使った物が多くあり、その美術的価値に触れ、金屏風への描画による作品作りを行うことと、よりよい表現をしていくために美術作品鑑賞を行うことを知る。 ・鑑賞のルールを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に何が描かれているかよく見る。 ・作者の気持ちを推理する。 ・いろいろな作品の良さ、作品の工夫されているところに気づく。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が選んだ作品について鑑賞し、印象や気づき、作品から推測できること、金の表現や作品の中での効果など、自由にワークシートに書き出す。 ・本物の金に触れ、その印象を感じ取る。 ・次回の授業では図書館資料でより深く調べ、鑑賞していくことを知る。 	○			○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">美術への関心・意欲・態度</div> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ作品に関心をもち、主体的にその特徴や美しさを感じ取ろうとする。(活動の様子、ワークシート、発言内容) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">鑑賞の能力</div> <ul style="list-style-type: none"> 日本の美術作品の特徴を捉え、日本の美術や伝統の良さなどを味わい感じ取っている。(ワークシート、発言内容)

2 本 時	(鑑賞:調べ学習) ・前時を振り返り, 本時のめあてを確認する。 ・図書館資料を使って, 作品について書いてある内容を整理し, ワークシートに記入する。 ・作品に金を使う効果などが書いてあればそれも調べて書く。 ・自分で感じたことや調べたことをグループで発表しあい, 調べたり友達の発表を聞いたりして分かったこと, 考えたこと, 創作のヒントなどを発表する。	○		○	美術への関心・意欲・態度 ・作品に関心を持ち, 主体的にその特徴や美しさをつかみ, 感じ取ろうとする。 (活動の様子, ワークシート, 発言内容) (情)3-A 鑑賞の能力 ・「金」の表現方法を足がかりとして, 日本の美術作品や美術文化の特徴に気づき, 良さや美しさを味わっている。 美術への関心・意欲・態度 ・調べたことや友達の発表からより深く鑑賞したり, 創作に生かそうとしたりする。 (情)3-B, C (ワークシート, 発言内容)
3 4 5 6	(制作活動) 前時の鑑賞をふまえ, 実際に金屏風に描く。 1. 日本の四季をイメージさせる題材を考える。 2. 屏風に収める構図を考える。 3. 金色のバックに映える配色を考える。 4. 平ぬりの技法を使い, ポスターカラーで着色する。	○	○	○	美術への関心・意欲・態度 前時の授業をもとに制作に意欲的に取り組む。 発想や構想の能力 題材や構図を「日本」「屏風」をふまえて発想, 構想を練っている。 創造的な能力 題材の表現方法, 筆使いを工夫して作品制作をする。
7	5. お互いの作品を鑑賞し合う。			○	鑑賞の能力 構図や配色を中心に互いの作品を味わう。

6. 本時の学習活動

(1) 目標

- ・自分の考えと比較しながら, 図書資料を使い日本の美術作品や美術文化の特徴をつかむ。
- ・金の表現を足がかりとして, 日本の美術作品や伝統, 文化の良さや美しさに気づき, それらを味わい, 自分の制作に生かそうとする。

(2) 展開

学習活動	教師の支援	評価
1. 学習目標と学習の流れを確認する。	○作品制作に生かすための鑑賞であることを伝え意欲喚起につなげる。(T1)	美術への関心・意欲・態度 選んだ作品とそれについて調べる 図書資料に関心を持ち, 主体的に鑑賞しようとしている。 (観察・ワークシート)
2. ワークシートの書き方について	○読んでまとめる視点(鑑賞の視点)を	鑑賞の能力

<p>説明を聞き、前時に選んだ作品について各自調べたいことがらを考え、図書館資料を使い調べる。</p> <p>3. グループ内で絵について感じたことや調べたことを発表する。</p> <p>4. 作品鑑賞や友達の発表を通して、感じたことや創作に生かしたいことなどをワークシートに書き、数人の友達の発表を聞く。</p> <p>5. 教師の作品における「金」の効果についての補足説明を聞く。</p> <p>6. 本時を振り返る。</p>	<p>与え、情報を収集しやすいように具体例を示す。(T2)</p> <p>○参考資料について説明する。(T3)</p> <p>○鑑賞と調べ学習を通して新たに分かったことや感じたことを書き留めさせ、創作に生きるよう声がけをする。(T1)</p> <p>○使用されている「金」の表現に日本独自の思いや感覚があることを補足として付け加える。(宗教的、権力誇示的、装飾的、空間演出、時間演出)(T1)</p> <p>○ワークシートにより今日の授業の振り返りを行わせる。</p>	<p>図書資料から日本の美術作品の特徴をつかみ、その良さや美しさを豊かに味わおうとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>美術への関心・意欲・態度</p> <p>・調べたことや友達の発表からより深く鑑賞したり、創作に生かそうとしたりする。</p> <p>(ワークシート、発言内容)</p>
---	--	---

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
美術への関心・意欲・態度	学習内容を十分に把握し、日本美術についての特徴を意欲的に捉えようとしている。	日本美術での金の使われ方に興味を持ち、日本美術の良さを主体的に感じ取ろうとしている。	日本の美術に興味を持っていない生徒には金のイメージを考えさせ、色彩や構図の工夫など、具体的な言葉がけをすることで作品の見方などを考えさせる。
鑑賞の能力	金色を使った日本美術を探求心を持って鑑賞し、図書資料から調べる視点を明確に示しながら学習を進め、そこからさらに作品の良さや美しさを味わっている。またグループ内の発表にも積極的に参加し、自分なりの価値を作り出している。	金を使った日本美術を鑑賞し、金の意味やイメージについて考えたり図書資料で調べたりすることでその良さに気づいている。	日本の美術文化の特性について見つけることができない生徒には、鑑賞に必要な視点を具体的に示して、鑑賞や調べ学習がスムーズに行えるように声掛けをする。